

基本構想検討シート : 生涯学習分野

1 生涯学習分野における国・都の動き

■国の現状

- ①平成27年度の調査では、生涯学習を行った国民の割合は47.5%となっている。
- ②平成27年10月にスポーツ庁を創設し、国際競技力の向上はもとより、スポーツを通じた健康増進、地域経済の活性化等、スポーツ行政を総合的に推進している。
- ③平成28年度の調査では、国民（成人）の週1回以上のスポーツ実施率は42.5%となっている。
- ④平成27年度の調査では、障害のある人（成人）の週1回以上のスポーツ実施率は19.2%となっている。
- ⑤平成28年度の調査では、不読率[※]について小学生は4.0%、中学生は15.4%となっている。

■国の目標

項目	目標
成人の週1回以上のスポーツ実施率	できる限り早期に、65%程度達成（障害者は40%程度）
成人の週3回以上のスポーツ実施率	できる限り早期に、30%程度達成（障害者は20%程度）
小学生、中学生の不読率	平成34年度 2%以下、8%以下

<資料> 文部科学省「スポーツ基本計画」
「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」より作成

※不読率
1ヶ月に1冊も本を読まなかった人の割合

■国における取り組みの方向性

- ①生涯にわたり、あらゆる機会・場所において学習できる社会の実現
- ②学習の成果を適切に生かすことのできる社会の実現
- ③スポーツ参画人口の拡大
- ④障害者スポーツの振興
- ⑤国際競技力の向上に向けた人材育成や環境整備
- ⑥読書活動に係る環境整備の促進

■都の現状

- ①学校・家庭・地域が協働した教育力の再構築を図る仕組み「地域教育プラットフォーム」づくりを推進するため、平成17年度から「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」を設置し、学校教育を基本軸にした社会教育行政を展開している。
- ②平成20年度から「学校支援ボランティア推進協議会事業」を展開し、社会全体で子供たちの教育活動を支援する取組を推進している。
- ③平成25年3月に「東京都スポーツ推進計画」を策定し、スポーツの力で人と都市が活性化するスポーツ都市東京の実現を目指している。
- ④平成32年までに都民のスポーツ実施率を世界トップレベルの70%まで向上させることを、政策目標としている。
- ⑤平成26年度の調査では、週1回以上スポーツを実施する都民（成人）の割合は約60.5%となっている。
- ⑥平成26年度の調査では、不読率について小2は2.6%、小5は5.4%、中2は13.2%となっている。

■都の目標

項目	目標
成人の週1回以上のスポーツ実施率	平成32年度 70%
小2、小5、中2の不読率	平成35年度 1.3%以下、2.7%以下、6.6%以下

<資料> 東京都「東京都スポーツ推進計画」
「第三次東京都子供読書活動推進計画」より作成

■都における取り組みの方向性

- ①家庭・地域の教育力向上に取り組む社会教育施策の推進
- ②都民の学習活動の促進
- ③都民のスポーツに対する機運醸成・環境整備・活動支援
- ④アスリートの発掘・育成による競技力の向上
- ⑤スポーツ資源の活用による国際交流・観光・都市づくり政策への連動
- ⑥障害者スポーツの普及促進
- ⑦都民活動や東京の発展を情報面から持続的に支える都立図書館

2 生涯学習分野におけるこれまでの区取り組み

■基本構想における位置付け

【将来像】いきいきとした個性あるまち

【基本目標】学びと交流の仕組みづくり

- ・社会の動向は、人々の価値観や行動様式が多様化する中、生涯学習への意欲が高まっています。
- ・台東区では、すべての区民が生涯にわたって自ら学習し、心の豊かさや生きがいのある生活に取り組んでいく環境づくりを目指します。
- ・この基本目標を実現するために、生涯学習センターを核に、区民相互が学び合い、交流する仕組みづくりを進め、地域活動の活性化やまちづくりへの貢献が図られるようにしていきます。

■台東区教育大綱

【《教育は人づくり》の観点から踏まえて取り組む項目】

- ・温故創新とこころざし
- ・自己実現と支え合い
- ・教育に対する信頼と尊敬
- ・心の豊かさや学びの環境づくり
- ・絆と地域力

■台東区生涯学習推進指針

- 【施策の目標】
- ・生涯学習の基礎を養う
 - ・あらゆる世代の多様な学習を振興する 等

■台東区学校教育ビジョン

- 【施策目標】
- ・新たな価値を創造する人材を養成する
 - ・多様な学習機会と学びの環境の充実を図る 等

■台東区生涯学習推進プラン (H29年度～H33年度)

- 【基本理念】
- ・学びあい 支えあうまち
- 【目指す姿】
- ・継続学習による成果を活かす生涯学習社会の実現
 - ・生涯学習により地域の課題解決につながる社会の実現
- 【目標指標】(平成33年度まで)
- ・生涯学習に取り組む区民の割合 80%以上

■台東区スポーツ振興基本計画 (H29年度～H38年度)

- 【基本理念】
- ・スポーツで みんなが つながり 輝く 台東区
- 【基本目標】(平成38年度まで)
- ・生涯スポーツ社会の実現
成人の週1回以上のスポーツ実施率 70%
 - ・スポーツのできる環境の整備
区立スポーツ施設年間利用者数 70万人
 - ・スポーツにより支えあう社会の実現
障害者スポーツへの関心をもつ区民の割合 70%

■台東区子ども読書活動 推進計画(第三期) (H27年度～H31年度)

- 【計画の目標】
- ・子どもの成長段階に応じた一貫した読書環境の整備
 - ・学校等における読書環境の充実
 - ・子ども読書活動推進の意義の普及・啓発

■基本構想策定(平成16年)からの主な取り組み

①学習の機会と環境の充実

- 区民の多様なニーズに対応した学習機会を提供
- 家庭教育に関する知識や技術について、保護者などが学習する場を提供
- シニア世代が地域活動の重要な担い手として活躍できるよう支援
- 多様な言語や文化、オリンピックについての理解や親しみを深める学習講座など開催

②図書館機能の充実

- まちかど図書館3館、中央図書館谷中分室の開館
- ICタグシステムの導入や資料の充実、貴重資料のデジタル化の実施
- 子供用のパンフレットによる読書啓発やおはなし会などの活動の実施や、読み聞かせボランティアの養成

③スポーツに親しむ機会の提供

- 地域のスポーツ活動を自主的活動へと発展させていくため、総合型地域スポーツクラブ「たなかクラブ」の設立を支援
- 幼児期から運動する習慣を身に付けさせるため、就学前児童を対象に運動教室を実施
- オリンピックやパラリンピックなどのアスリートを招いたスポーツイベントの実施
- 「支える」スポーツの意義などの啓発やスポーツボランティアの育成
- 障害者スポーツ指導に係る基礎的知識・技術を有する人材の育成

④スポーツに取り組む場の充実

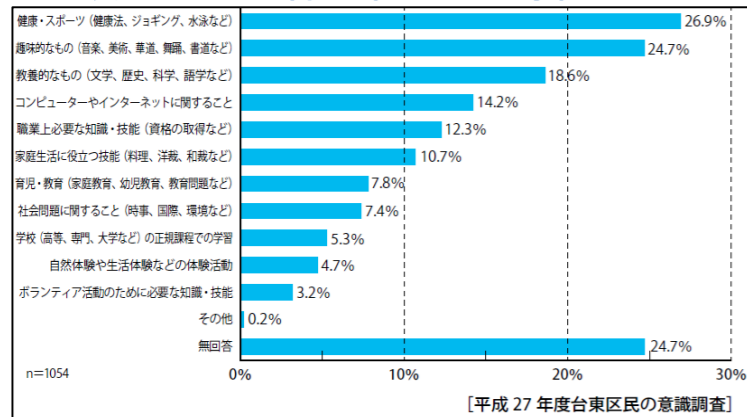
- リバーサイドスポーツセンター大規模改修や柳北スポーツプラザの設備充実を実施
- 荒川河川敷運動公園運動場に駐車場を設置
- 旧田中小学校を活用し、たなかスポーツプラザを開設

基本構想検討シート：生涯学習分野

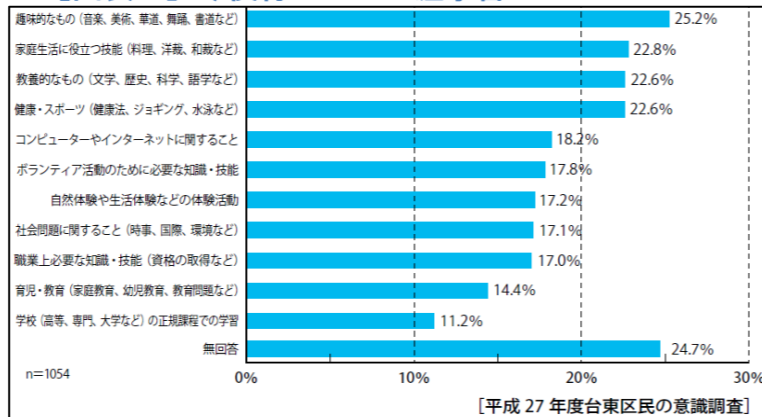
3 区の現状

- ①平成27年度の調査では、「1年間に行った生涯学習」と「今後行いたい生涯学習」の内容が大きく異なっている。（図表1、図表2参照）
- ②平成27年度の調査では、生涯学習に取り組む区民の割合は75.3%で、平成23年度から26.7ポイント増加している。
- ③平成28年度の調査では、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を、仕事や地域活動に活かしたいと思う区民の割合は8割に達している。
- ④平成28年度の調査では、区内成人の週1回以上のスポーツ実施率は59.8%で、平成20年度から21.0ポイント増加している。
- ⑤近年では、ウォーキングや体操など一人でできるスポーツをする区民が増えており、区民のスポーツに対するニーズは多様化している。
- ⑥区立スポーツ施設利用者数は、平成17年の約51万人から、平成28年には約68万人まで増加している。（図表3参照）
- ⑦平成28年度の調査では、区立スポーツ施設の満足度は平成20年と比較して平成28年は増加しており、25.3%となっている。（図表4参照）
- ⑧平成28年度の調査では、障害のある人の週1回以上のスポーツの実施率は57.5%となっている。
- ⑨平成28年度の調査では、区民の考える今後区が取り組むべきスポーツ施策は、第1位が「健康・体力づくりの推進」、第2位が「スポーツ施設の整備・充実」、第3位が「中高年者のスポーツ活動の推進」となっている。また、「障害者スポーツ」は平成20年度の調査では第12位であり、平成28年度では第6位と順位が上がっている。
- ⑩平成29年度の調査では、1か月間の読書量が0冊の割合（不読率）について、小4が7.5%、小5が10.1%、中1が14.1%、中2が18.3%となっている。
- ⑪平成28年度の調査では、区民が充実してほしい図書館サービスは、第1位が「蔵書・資料の収集」、第2位が「開館日・開館時間の増」、第3位が「貸出し・返却場所の増」となっている。

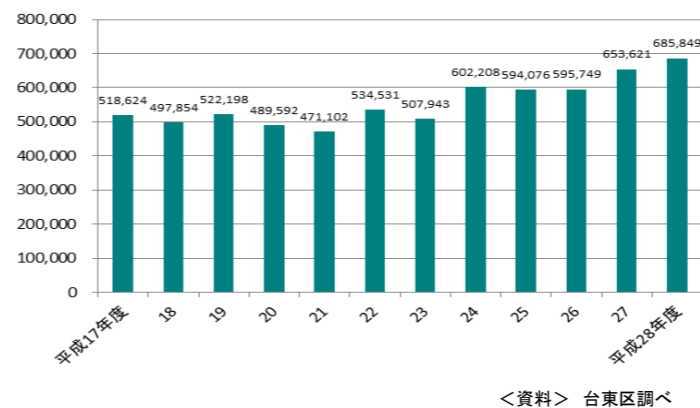
【図表1】この1年間に行った生涯学習について



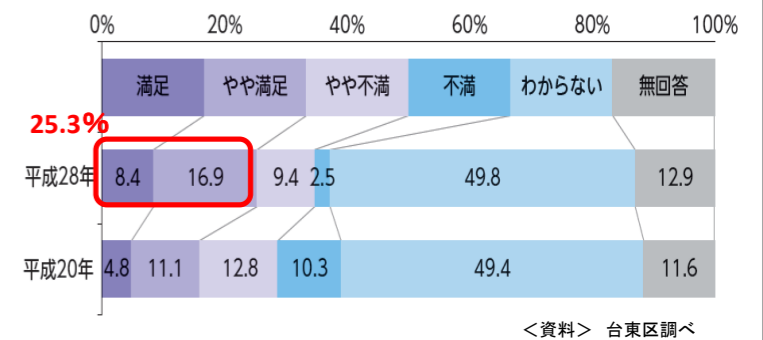
【図表2】今後行いたい生涯学習について



【図表3】区立スポーツ施設利用者数の推移



【図表4】区立スポーツ施設の満足度



4 区の抱える課題

- ①区民の生涯学習のニーズが多様化していることから、学習の内容や規模等において拡充が必要である。
- ②区民が自主的に取り組む学習の意識・意欲を支え、その学習を継続することができ、学んだことを活用につなげる仕組みづくりが必要である。
- ③区民の誰もがスポーツに親しみ豊かな生活を送るために、区民それぞれの状況に応じたスポーツに触れる機会の提供が必要である。
- ④区民がより身近にスポーツに楽しめるようスポーツ環境の整備が必要である。
- ⑤スポーツの力で障害のある人とない人が相互に理解し支えあい、誰もが輝く社会を実現するために、障害者スポーツを推進する必要がある。
- ⑥子供たちがより良い人生を送るために、成長過程に合わせた適切な読書環境の提供が必要である。
- ⑦区民の役に立つ・生涯学習を支える図書館として、区民ニーズに即した資料収集や利用しやすい環境整備等、サービスの充実が必要である。

5 課題解決に向けた施策の方向性(案)

- ①多様な学習機会の提供（課題①に対応）
- ②学習の促進及び成果を活用に繋げる環境の整備（課題②に対応）
- ③全ての世代へのスポーツ活動機会の提供（課題③に対応）
- ④スポーツのできる環境の整備（課題④に対応）
- ⑤障害者スポーツの推進（課題⑤に対応）
- ⑥図書館機能の充実（課題⑥、⑦に対応）

6 20年後の望ましい姿

審議会での検討後、小委員会第3回で提示